

STOP!

インターネットの誹謗中傷 ～今も誰かが誹謗中傷で傷ついている～



情報を受け取るときは

情報の信憑性を確認しましょう。

情報の偏りに注意しましょう。

発信者のねらいを見極めましょう。

傷ついたときは…

- 「ブロック」「ミュート」機能を活用し、SNSから距離を置いてみましょう。
- プロバイダ等へ削除を依頼しましょう。
- 専門の相談窓口を活用しましょう。



インターネットは世界中につながっています。しかし、その情報は正しいものばかりではなく、嘘や間違いも多く、誹謗中傷に限らず詐欺や性犯罪などのトラブルも後を絶ちません。

トラブルに巻き込まれないためには、**インターネットリテラシー**(情報を適切に判断、運用できる能力)と**人権意識**を強く持って、インターネットを利用する必要です。

情報を発信するときは

相手の立場に立って考えましょう。

事実に基づいて発信しましょう。

プライバシーに配慮しましょう。

発信者は特定されます！

匿名での投稿でも、情報開示請求により発信者が特定され、損害賠償請求や侮辱罪等による処罰の対象となる場合があります。